

西河技術経営塾研究科前期 講義録 SH13

作成：渋谷 加津美

日時：平成 30 年（2018 年） 5 月 16 日（水）午後 6 時 00 分 ～ 午後 7 時 00 分

場所：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

講師：小平和一郎

研究生：渋谷加津美

講義名：(SH13) ¹「日本開発工学会 研究発表大会のテーマについて」

講義資料：グローバル市場でのエンジニアリング・ブランド構築

講義内容

1. 概要

第 13 回目（SH13）の講義（研修）を行った。内容は、以下の通り。

日本開発工学会の第 1 回研究発表大会での発表テーマを決定した。

テーマを「保守市場におけるイノベーション装置の市場創出モデル」として報告する。

2. 研究内容

（1）研究会発表テーマについて

放送局の生番組収録スタジオの音声設備は、長い間アナログ機器が主流であった。デジタル技術の発展に合わせてデジタル音声設備の導入がなされたが、CPU や OS の障害による放送事故予防防止の信頼性の払拭が課題となり、市場拡大（デジタル機器による更新重要）が進まない状況であった。この状況を打開した事例を整理してみることにした。

整理にあたり、開発工学の特集記事である「グローバル市場でのエンジニアリング・ブランド構築」下記の（2）を参考とすることとした。

（2）技術特徴を共有し競争力のある商品を創る

E ブランドの本質は、技術を通して顧客の要求条件や顧客の課題の解決を提案できる具現力であり、その技術への顧客の信頼である。ブランドは、供給者と顧客の技術者間の相互信頼、情報交換を通じて、また、顧客の技術の評価を通し、顧客の中、市場の中に形成される。

業界のキーマンやリーダーのブランド効果を生かして取り組んだ、放送局向けスタジオ音響機器の開発から導入までを整理し、そこで取り組んだ戦略手順を整理することとした。

本内容を参考資料などで学び、実ビジネスでの事例と課題について報告するよう指導を受けた。

（3）その他

特になし。

3. 次回までの宿題

13 回の講義を終えて、発表用の予稿案を作成し課題を報告する。

4. 次回日程

（1）次回日程 5 月 31 日（木）午後 6 時～午後 7 時

（2）参考資料

研究の参考資料として、下記を選定した。

『キャズム Ver2』ジェフリー・ムーア著

以上

¹（注）SH01：SH とは、Shibuya のこと。01 は、1 回目。第 3 回は、SH03 となる。